



debug コマンド : r ~ z

- [debug rbcv](#) (2 ページ)
- [debug rfid](#) (3 ページ)
- [debug snmp](#) (4 ページ)
- [debug transfer](#) (5 ページ)
- [debug voice-diag](#) (6 ページ)
- [debug wcp](#) (8 ページ)
- [debug web-auth](#) (9 ページ)
- [debug wips](#) (10 ページ)
- [debug wps sig](#) (11 ページ)
- [debug wps mfp](#) (12 ページ)

debug rbc

Router Blade Control (RBCP) デバッグ オプションを設定するには、**debug rbc** コマンドを使用します。

debug rbc {all | detail | errors | packet} {enable | disable}

構文の説明

all	RBCP のデバッグを設定します。
detail	RBCP 詳細のデバッグを設定します。
errors	RBCP エラーのデバッグを設定します。
packet	RBCP パケット トレースのデバッグを設定します。
enable	RBCP デバッグを有効にします。
disable	RBCP デバッグを無効にします。

コマンド デフォルト

なし

次に、RBCP 設定のデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug rbc packet enable
```

関連コマンド

debug disable-all

debug rfid

無線周波数 ID (RFID) デバッグ オプションを設定するには、**debug rfid** コマンドを使用します。

debug rfid {all | detail | errors | nmsp | receive} {enable | disable}

構文の説明

all	すべての RFID のデバッグを設定します。
detail	RFID 詳細のデバッグを設定します。
errors	RFID エラーメッセージのデバッグを設定します。
nmsp	RFID の Network Mobility Services Protocol (NMSP) メッセージのデバッグを設定します。
receive	受信した RFID タグ メッセージのデバッグを設定します。
enable	RFID デバッグを有効にします。
disable	RFID デバッグを無効にします。

コマンドデフォルト

なし

次に、RFID エラーメッセージのデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug rfid errors enable
```

関連コマンド

debug disable-all

debug snmp

SNMP デバッグ オプションを設定するには、**debug snmp** コマンドを使用します。

debug snmp {agent | all | mib | trap} {enable | disable}

構文の説明		
	agent	SNMP エージェントのデバッグを設定します。
	all	すべての SNMP メッセージのデバッグを設定します。
	mib	SNMP MIB のデバッグを設定します。
	trap	SNMP トラップのデバッグを設定します。
	enable	SNMP デバッグを有効にします。
	disable	SNMP デバッグを無効にします。

コマンド デフォルト なし

次に、SNMP のデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug snmp trap enable
```

関連コマンド **debug disable-all**

debug transfer

転送デバッグ オプションを設定するには、**debug transfer** コマンドを使用します。

```
debug transfer {all | tftp | trace} {enable | disable}
```

構文の説明

all	すべての転送メッセージのデバッグを設定します。
tftp	TFTP 転送のデバッグを設定します。
trace	転送メッセージのデバッグを設定します。
enable	転送メッセージのデバッグを有効にします。
disable	転送メッセージのデバッグを無効にします。

コマンドデフォルト

なし

次に、転送メッセージのデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug transfer trace enable
```

関連コマンド

debug disable-all

debug voice-diag

コールまたはパケット フローを追跡するには、**debug voice-diag** コマンドを使用します。

```
debug voice-diag {enable client_mac1 [client_mac2] [verbose] | disable}
```

構文の説明		
enable		コールに関連する音声クライアントの音声診断のデバッグを有効にします。
<i>client_mac1</i>		音声クライアントの MAC アドレス。
<i>client_mac2</i>		(任意) 他の音声クライアントの MAC アドレス。 (注) 2つの音声クライアントを最大化するために、音声診断を一度にイネーブルまたはディセーブルにできません。
verbose		(任意) コンソールに表示されるデバッグ情報をイネーブルにします。 (注) 音声診断が NCS または Prime Infrastructure から有効に設定された場合、冗長オプションは使用できません。
disable		コールに関連する音声クライアントの音声診断のデバッグを無効にします。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン **debug voice-diag** コマンドを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- このコマンドを入力すると、クライアントの有効性は検査されません。
- コマンドの出力メッセージのいくつかは、NCS または Prime Infrastructure に送信されます。
- コマンドは 60 分後に自動的に期限切れになります。
- コマンドは、アクティブ コールに関連するクライアント MAC ペア間のコール フローの詳細を示します。



(注) 2つの音声クライアントを最大化するために、音声診断を一度にイネーブルにできます。

次に、転送/アップグレード設定を有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug voice-diag enable 00:1a:a1:92:b9:5c 00:1a:a1:92:b5:9c verbose
```

関連コマンド

show client voice-diag

show client calls

debug wcp

WLAN Control Protocol (WCP) のデバッグを設定するには、**debug wcp** コマンドを使用します。

debug wcp {events | packet} {enable | disable}

構文の説明	events	WCP イベントのデバッグを設定します。
	packet	WCP パケットのデバッグを設定します。
	enable	WCP 設定のデバッグを有効にします。
	disable	WCP 設定のデバッグを無効にします。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、WCP 設定のデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) >debug wcp packet enable
```


debug web-auth

Web 認証済みクライアントのデバッグを設定するには、**debug web-auth** コマンドを使用します。

```
debug web-auth { redirect { enable mac mac_address | disable } | webportal-server { enable | disable } }
```

構文の説明	redirect	Web 認証され、リダイレクトされたクライアントのデバッグを設定します。
	enable	Web 認証済みクライアントのデバッグを有効にします。
	mac	Web 認証済みクライアントの MAC アドレスを設定します。
	<i>mac_address</i>	Web 認証済みクライアントの MAC アドレス。
	disable	Web 認証済みクライアントのデバッグを無効にします。
	webportal-server	クライアントのポータル認証のデバッグを設定します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、Web 認証され、リダイレクトされたクライアントのデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug web-auth redirect enable mac xx:xx:xx:xx:xx:xx
```

debug wips

ワイヤレス侵入防御システム (WIPS) のデバッグを設定するには、**debug wips** コマンドを使用します。

debug wips { **all** | **error** | **event** | **nmsp** | **packet** } { **enable** | **disable** }

構文の説明

all	すべての WIPS メッセージのデバッグを設定します。
error	WIPS エラーのデバッグを設定します。
event	WIPS イベントのデバッグを設定します。
nmsp	WIPS の Network Mobility Services Protocol (NMS) イベントのデバッグを設定します。
packet	WIPS パケットのデバッグを設定します。
enable	WIPS のデバッグを有効にします。
disable	WIPS のデバッグを無効にします。

コマンド デフォルト

なし

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、すべての WIPS メッセージのデバッグを有効にする方法を示します。

```
(Cisco Controller) > debug wips all enable
```

関連コマンド

debug client
debug dot11 rogue
show wps summary
show wps wips

debug wps sig

ワイヤレスプロビジョニングサービス (WPS) のシグニチャ設定のデバッグを設定するには、**debug wps sig** コマンドを使用します。

debug wps sig {enable | disable}

構文の説明	enable	WPS 設定のデバッグを有効にします。
	disable	WPS 設定のデバッグを無効にします。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、WPS シグニチャ設定のデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug wps sig enable
```

関連コマンド

- debug wps mfp**
- debug disable-all**

debug wps mfp

WPS 管理フレーム保護 (MFP) 設定のデバッグを設定するには、**debug wps mfp** コマンドを使用します。

debug wps mfp {client | capwap | detail | report | mm} {enable | disable}

構文の説明	client	クライアント MFP メッセージのデバッグを設定します。
	capwap	コントローラとアクセス ポイント間の MFP メッセージのデバッグを設定します。
	detail	MFP メッセージの詳細デバッグを設定します。
	report	MFP レポートのデバッグを設定します。
	mm	MFP モビリティ (Cisco WLC 間) メッセージのデバッグを設定します。
	enable	WPS MFP 設定のデバッグを有効にします。
	disable	WPS MFP 設定のデバッグを無効にします。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、WPS MFP 設定のデバッグを有効にする例を示します。

```
(Cisco Controller) > debug wps mfp detail enable
```

関連コマンド

debug disable-all

debug wps sig